

教育委員会と連携した防災教育の取組状況について

令和4年2月10日（木）

総務部 総合防災課

第1回秋田県総合教育会議で「地域と連携した防災教育の推進について」を協議したところ、学校、行政機関及び地域との連携が重要であるとされたことから、次の機会を通じ県教育委員会と連携した。

① 「災害安全指導者研修会」における連携

学校における災害安全教育の充実を図るため県教育委員会が開催した研修会（「災害安全指導者研修会」）に講師として自主防災アドバイザーを派遣し、教職員に対し、「学校と地域をつなぐ防災×SDGs」と題し講演した。

● 講演概要

- ・ 「地域と連携した防災教育」＝「避難訓練」といったイメージにとらわれることなく、「児童生徒の成長」という観点で考えれば様々な連携の仕方がある。
- ・ 行動を指示するのではなく、「問いと対話」を重視し、児童生徒の主体性や判断力を養う指導方法が重要である。

● 受講者の反応

- ・ 元教員としての視点で話す内容は学校活動に取り入れやすく、継続的に取り組むことができる。
- ・ 教育活動の中に防災に関する内容を取り入れる方法のヒント（運動会やPTAの活用など）をいただいた。
- ・ 学校行事において地域との交流を図りながら、地域連携につなげる工夫があることに気付かされた。

② 「学校安全外部指導者派遣事業」における連携

学校における防災教育の充実により、児童生徒の災害に対する心構えを培った。

- 県教育委員会と連携し、総合防災課員が県内の小中学校等に出向き、地域の災害危険箇所を把握するための地図作りや災害発生時の対応についてゲーム形式で学んだ

【今後の取組】

- 地域と学校が連携した防災活動の促進を図る
 - ・ 防災マップの作成等、防災意識の向上に向け地域住民と学校・児童生徒が協力。
 - ・ 防災教育について、自主防災アドバイザー等と学校・教育委員会とが連携。
 - ・ 家庭における防災意識の向上が図られるような防災教育の工夫。